



みだっ子 NO26

がっこうきょういくもくひょう 学校教育目標

こころゆた あか じつこうりよく
心豊かで、明るく、実行力
のある子の育成

<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp./esmida/>

TEL385-0506

FAX 385-0815

たの わ ほんかつどう みんなで楽しんだよ！ “たて割り班活動”

1/18(水)の5限目、たて割り班活動を行いました。たて割り班活動とは、学年やクラスの垣根を越えて、異なる学年の子どもたちが小グループになって行う交流活動です。

今回、6年生は大木中学校の新生説明会と重なったので、5年生が企画運営をしてくれました。各教室で「宝探し」、「的あて」、「連想ゲーム」、「ペットボトルボーリング」「フルーツバスケット」、「だるまさんが転んだ」、「風船バレー」等、考えるゲームあり、体を動かす活動ありと、どの班も学年を越えた楽しい交流ができました。

準備や進行役で大活躍してくれた5年生の皆さん、ありがとう！



かさい そうてい ひなんくんれん 火災を想定した避難訓練をしました

1/18(水)3限目、火災を想定した避難訓練をしました。前日は、「阪神・淡路大震災1.17つどい」が行われ、28年前の大震災で亡くなられた方々を追悼するとともに、震災時に培われた「きずな・支えあう心」「やさしさ・おもいやり」を確認する日でありました。

災害の多い日本では、日頃より危機意識をもって訓練にのぞみ、防災減災に努めなければなりません。今回の避難訓練では、災害が起こった際、適切な判断で、あわてずに行動する力を身につける目的から、出火場所として想定した給食室を大きく迂回するコースをとりました。

みんな^{しんけん ひょうじょう}真剣な表情で、避難時の合言葉 **①おさない**、**②はしらない**、**③しゃべらない**、**④もどらない**、**⑤い**学年優先をしっかりと守っていました。また、訓練では、和の街^{くんれん} 箕田^{わ まち みだ} 地域づくり^{ちいき} 協議会^{きょうぎかい}からいただいた防災頭巾^{ぼうさいずきん}をかぶり、頭^{あたま}を守ることも意識^{まも}できていました。



ねんせい 3年生 “ポッチャ”を体験しました！

1/20(金)の3・4限目、3年生が、“ポッチャ”を体験しました。鈴鹿市社会福祉協議会より6名の方々に来ていただき、“ポッチャ”というスポーツのルールや競技方法を教えていただきました。”ポッチャ”は、個人戦・団体戦いずれの場合も、赤ボールと青ボールの二手に分かれて、白い目標球に、赤・青それぞれ6球ずつのボールをいかに近づけられるかを競うものです。

まだまだ、馴染みのうすいスポーツですが、一昨年に開催された東京パラリンピックで、杉村英孝選手が、個人戦で日本初となる金メダルを獲得したことで注目されました。当日、子どもたちは、重さ275gのボールを転がしたり、軽く投げたりして、競技を楽しみました。



こうない で あ はなし 校内で出会った“いいお話”

1/25(水)、この日はご存じのように、前夜からの寒波で、運動場は雪で真っ白、南校舎と北校舎をつなぐ一・二階の通路にも雪が積まりました。子どもたちを迎えるため、朝から何人かの職員で雪かきをしましたが、その後も降り続いたため、かいてもかいても残ってしまう状態でした。午前中の休憩時間でした。ほうきを持って通路に向かう数人の子どもたちを見かけました。すると、5・6年生の子どもたちが、ほうきで雪かきをしてくれていたのです。

また登校時、レールから外れた門扉（運動場南側の門）を戻そうと四苦八苦している姿を見て、5年生の男の子が、「手伝いましょうか？」と心配してくれました。『5年の学年目標”考動力”の実践や6年生としての最高学年の自覚だな』と嬉しく思いました。



お家では、照れくささや甘えもあって、紹介させていただいたような場面に出くわすことは少ないかとは思いますが、学校生活を通して、子どもたちは、確実に成長しています。